

アシカのかんさつシート

うみ く
海で暮らしているカリフォルニアアシカを観察しよう！

行動をかんさつ！

見られたものに
○をしよう

・どこにいた？

- () 水中 () 陸上

・何をしていた？

- () エサを食べている () うんちした
() 泳いでいる () おしっこした
() 歩いている () あくびした
() 寝ている () 鳴いた
() その他

からだをかんさつ！

○をしよう

・しっぽはあるかな？

ある · ない

・からだには短い毛が生えているよ！
見たかな？

み
見た · み
見えなかつた

はっけん
発見したこと

うみ せいかつ てき とくちょう
海の生活に適したからだの特徴はどんなところかな？

がっこうめい
学校名

なまえ
名前



かんさつ
よく観察して、
たりないとこを描きたしてね！

水中で泳ぐ動物を探そう！

すいしゅう およ どうぶつ さが
↓ 水中で泳ぐ動物に○をつけよう

- () アヒル
() フンボルトペンギン
() アメリカビーバー
() コツメカワウソ
() フクロテナガザル
() マレーバク
() アルダブラ
ゾウガメ

先生用 アシカのかんさつシートと解説

**ワークシートの
ねらい** アシカの行動を観察することを通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、生息環境に適したからだのつくりになっていることに気づく。

カリiforniaアシカ 食肉目アシカ科

- ・北アメリカの太平洋の海岸線に沿って生息しており、河川でも見られることがあります。一夫多妻で、繁殖期の7月には、オスは5~20頭ほどのメスとハーレムをつくります。
- ・体はオスの方が大きく、成長したオスの額はこぶのように盛り上がります。
- ・肉食性で、主に魚類を食べます。軟体動物や貝類も食べます。動物公園では、アジとサバを与えています。



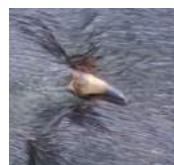
オス 額にこぶのような盛り上がりあり。

■ アシカのからだは水陸両用？！

アシカは、水中はもちろん、陸上でも意外と速く動くことができます。からだのつくりにひみつがあります。

【耳】

水の抵抗を少なくするように、小さな形をしています。



【からだの表面】

黒くつるつるしているように見えますが、寒さから身を守るために長くて堅い毛と短くてやわらかい毛の二重構造で覆われています。

【鼻】

水に潜るときには、鼻の穴を閉じることができます。長いと15分程潜っていることができ、水深300mにも達すると言われており、潜水能力もあります。



【肢】

肢にはそれぞれ5本の指がありますが、いずれも厚い水かきでつながっていて、魚のひれのようになっています。泳ぐ時にはこの前肢を使って泳ぎます。また、陸上では、前肢と後ろ肢でからだを支えながら、腹部を地面から離して歩きます。陸上でも意外に速く、そして、遠くまで移動することができます。



【尾】

とても短く、後ろ肢の間に隠れるようになっています。



後ろ肢

【からだの形】

水中をすばやく泳ぐために流線型をしています。泳ぐ時は、前肢を使って自由に泳ぎまわることができます。普通は水面に頭を出して泳いでいますが、潜水し、水中では25~30km/h程の速さで泳ぐことができます。



泳ぐ動物は他にも色々いますが、泳ぎ方を比べたり、水面を泳ぐもの、水中を泳ぐもの、それぞれどんな特徴があるのか調べてみましょう。

飼育員のコラム『アシカとアザラシ』

アシカは水中で前肢を動かして泳ぎ、陸上では、前肢で上体を起こしたり、前方に前肢を使って歩くことができます。顔には耳たぶがあります。

一方、アザラシは、水中では、後肢を使い腰を曲げながら左右の後肢を交互に動かして泳ぎます。陸の上では、前肢で上体を起こせないため、はって移動します。

以前は、日本にもニホンアシカがいましたが、第二次大戦後、毛皮や食料として捕獲され、いなくなってしまいました。

